



大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第57号
2017年6月30日発行

暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。
まもなく待望の夏休みですね♪

- * 大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています
- * 御確認をお願いします

<協会設立の基本理念に則り、 更なる発展を目指して活動する。>

- ① 大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)＝会」を目標とする。
- ② 本会は、地区内の緩やかな繋がり・親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③ 大島地区内における情報交換の場とする。
- ④ 実務研修の充実を図る。

<会長あいさつ>

奄美小学校 中村 三好

事務職員の職務規定の見直し（「事務をつかさどる。」）により責任を持った事務処理の必要が、また「共同学校事務室」という名称によるその法制化により、共同実施による事務室機能の強化が、それぞれ求められています。

社会の変化に伴い、事務職員に求められる役割や仕事も変化していますが、これからの社会を生きる子どもたちのために、学校に求められているものを理解し、私たちに何ができるのかを考えることが常に必要になると思います。「病気になるために休む」（前原総務課長）意識をもって、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）のとれた毎日を過ごしながら……。

役員ともども、よろしく願いいたします。

<平成29年度 大事協役員>

本年度の役員が総会で承認されました。

職名	氏名	勤務校
会長	中村 三好	奄美小学校
副会長(総務)	吉澤 留美子	節田小学校
副会長(研修)	牧野田 春乃	芦花部小学校
書記	松木 慶子	朝日中学校
会計	竹ノ内 義隆	龍郷小学校
監事	奄美市住用ブロックから選出	
監事	大和村から選出	

☆第12次県費事務改善検討委員会委員
牧 武志（緑が丘小学校）

どうぞよろしく願いします



2年間会長をしてくださった川田先生、5年間副会長を
してくださった金森先生、おつかれさまでした。

<交流会 会計報告> 会計 竹ノ内 義隆

今年度も、第1回大島地区小・中学校事務職員研修会終了後、交流会が開催されました。その会計報告をいたします。多くの方の御参加、ありがとうございました。

(収入)参加費

$$4,000 \text{ 円} \times 73 \text{ 名分} = \underline{292,000 \text{ 円}}$$

(会員 68 名, 補助 1,000 円 × 68 名分)

(支出)料理・飲み物代

$$4,000 \text{ 円 (税込み)} \times 73 \text{ 名分} = \underline{292,000 \text{ 円}}$$

$$(収支) 292,000 \text{ 円} - 292,000 \text{ 円} = \underline{0 \text{ 円}}$$

<第1回理事会の報告>

6月8日(木)に、平成29年度第1回理事会が開催されました。

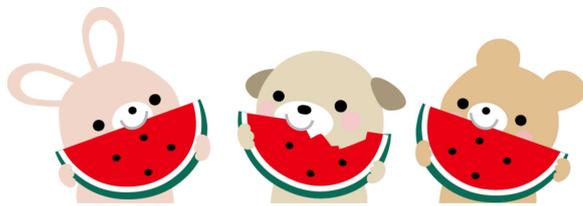
今年度の理事会では、来年度直面する以下の問題について主に協議していくことになります。

① 2学期の地区事務研の市町村発表

例年、2学期の地区事務研で3町村ブロックずつ研究事例発表をしていますが、今年度で一巡します。その時間枠を来年度以降どのようなことをすればよいか

② 学校事務の現状報告会の実践レポート発表

夏休みに鹿児島市で学校事務の現状報告会が毎年開催されています。来年度は実践レポート発表を大島地区がしなければなりません。誰が何を発表するか



<各地区からのお願い>

今回の原稿は、①和泊町、②宇検村、③奄美市名瀬西部地区、④奄美市名瀬東部地区から、いただきました。また、新規採用の声も掲載しています。支援室だよりも提供していただきましたので、ぜひご覧ください。

① 和泊町事務職員会 和泊町立和泊中学校 橋口 健太郎

みなさんこんにちは。和泊町事務職員会です。

本会の支援室は小学校4名、中学校2名の計6名で構成されています。ベテラン、中堅、2校目、期限付に新規採用と、幅広い層のメンバーが揃い、多様な視点から充実した意見交換ができることが持ち味です。

研修会は、年7回の町内研修と知名町との両町研修会年3回を計画しています。具体的には、昨年度はスタートアップマニュアル（年度当初の事務の手引）の作成に取り組みました。今年度はその流れも踏まえて、事務引継書の作成をテーマに取り組んでいきます。

また、共同実施は月2回、諸手当認定や業務内容及び通知分の確認・教育支援・支援室だよりの発行・町費の標準化などを行っています。特に町費については平成28年4月8日付で「和泊町立小中学校財務事務取扱規程」が制定されたことから、今年度から本格的に校内予算委員会を踏まえた予算の執行に取り組んでいます。規程には、財務事務を支援室で共同して行えるという内容も含まれているので、今後は備品の共同購入なども模索しています。

本町には様々な悩みを抱える事務職員がいますが、それに対して励ましてくれたり、有益な情報を与えてくれたりする非常にあたたかい支援室となっております。

これからも学校の教育目標を実現し、学校の活性化を支援する事務職員を目指して、一丸となって頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



② やけうち湾をかこんで 宇検村学校事務支援室

大島地区に勤務していても、地理的に宇検村がどこにあるのかわからない、行った事ないという方も多いかもしれない。奄美大島本島の南の端であり、空港から2時間、名瀬からもハブが出発する山道を1時間という場所に位置する。やけうち湾を囲んで集落や学校があり、大自然に囲まれ心が洗われる。

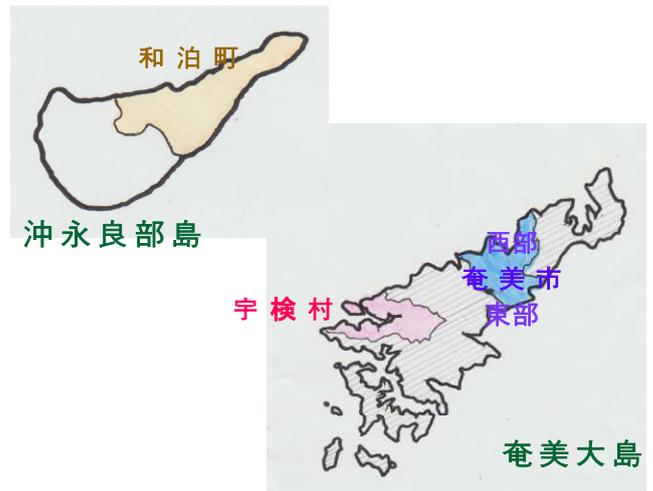
小学校4校、中学校4校、そのうち3校が小中併設、支援室は3名の事務職員で構成されている。基本的には月2回開催、別に四半期ごとに丸一日を費やし、全校を回りながら相互自主点検を実施している。第3四半期1月下旬には相互自主点検を実施する。村の学校事務職員研修会も学期1回計3回、村教育委員会の担当者も交え実施している。少ないメンバーだが、3名で情報交換を行い、村費事務についても共通理解しながら、日々宇検村の小中学校のため、子どもたちのため活動している。

宇検村は今年で100周年を迎える。花火大会もあるセレモニーは10月に盛大に行われる予定である。事務職員の皆様もこの機会にぜひどうぞ・・・。



（名柄校の2階のある執務室です。この時期はよくアカシヨーンがないいます。）

○ 事務机もパソコンも一人一台あります。



③ 奄美市名瀬西部地区学校事務支援室 奄美市立芦花部小中学校 牧野田 春乃

こんにちは。奄美市名瀬西部地区学校事務支援室です。

本支援室は、月2回程度、執務室のある金久中学校事務室で業務を行っています。今年度は、人事異動により2名の入れ替わりがありました。昨年度同様勤務年数ではバランスのとれた構成で、10校10名でスタートしました（うち1名は共同実施加配、1名は2校兼務です）。

連携校が多く、大島地区の中では珍しく(?)200~700名規模の学校が7校もあるため、今年度は4月だけで79件の認定をしました（例年並みの件数です）。特殊事例もあるので、相互研修をすすめながら認定作業を行っています。

昨年度は新たな業務の研究に精力的に取り組み、給与・福利厚生に係る職員用リーフレットを2つ作成しました。支援室ができる前に奄美市西部ブロック研修会が作成したリーフレットを大元に、今の時代にあったわかりやすいものをつくろうというところから始めました。元々あった8種類のリーフレットから、職員が特に興味を持ちそうなものを選び、給与や諸手当について簡単にまとめた「やったあ給与♪明細書を楽しく見よう！」と、勤務関係についてまとめた「休暇等について」というリーフレットを作成し、各校の職員に配布しました。

＜今年度新規採用者の声＞

今年度大島地区には、10名の先生方が新規採用として着任されました。



奄美市立小湊小学校 海江田 賀央

新規採用として4月から小湊小学校に赴任し、約2ヶ月が経ちました。初めての奄美、初めての学校事務というのはとても不安に感じるものであり、4月は何かから手を付けていけば良いのか、そもそも何をすれば良いのか分からないことだらけでした。そんな中、仕事のことだけではなく、車の運転・社会人としてのマナーにおいてまで丁寧な指導をしてくださった近隣校の事務の先生方には頭が上がりません。当初不安であったこの仕事が次第にやる気に満ち、頑張ろうと思うことができたこととても感謝しております。

最近やっと奄美（小湊）の環境に慣れつつありますが、まだまだ分からないことが多く周りの先生方にご迷惑をおかけしているかと思えます。早く仕事に慣れ一人のできるようになるためにも、一つ一つ確実に理解していきたいと思えます。

1学期も残すところ約一か月となりました。昨年度新校舎となり、事務室の天井に自分にはもったいない贅沢なものが設置されておりますがクールビズ精神でなるべく扇風機で過ごしたいと思えます。



④ 奄美市名瀬東部地区学校事務支援室 奄美市立大川小中学校 内山 大成

名瀬東部地区学校事務支援室は「拠点校」奄美小、「連携校」名瀬中、小湊小、大川小・中、崎原小・中各学校の事務職員5人で構成されています。「室長」は奄美小学校事務職員、「執務室」は奄美小学校にあります。

現在、「第1回共同実施協議会」（4月12日）において承認された「平成29年度共同実施計画書」に基づいて、認定事務、旅費請求の事例研修、自主検査の相互点検（各学校で実施）、市費や就学援助事務、支援室だより作成（各学期）等を行っています。

一昨年度から東部支援室のメンバーが各学校に赴き、管理職を交えて自主検査の補助を行っています。管理職を交えて自主検査を行うことにより、しっかりと検査を行うことができ、管理職からも好評をいただいています。（支援室だより平成27年12月号をご覧ください）

今年度は新規採用の先生も加わり、より一層支援室内が若返りました。経験年数等は違いますが、一致団結して教育支援に携われたらと考えています。

今後とも、名瀬東部地区学校事務支援室をよろしくお願ひします。



実家で飼っている愛犬アムちゃんが、6月で10才になりました♪人間に換算すると56才らしいです。我が家で末っ子として可愛がられています。が、両親と同年という驚き。



* 今回、徳之島町が原稿集約・編集をしてくださりました。また、和泊町・宇検村・奄美市西部ブロック・奄美市東部ブロックから原稿・支援室だよりをいただきました。ありがとうございました。

* 第58号は、編集担当が天城町、原稿提出が伊仙町・奄美市笠利ブロック・大和村・龍郷町となっています。よろしくお願ひします。文字ばかりにならないよう、画像を大募集中です！

